

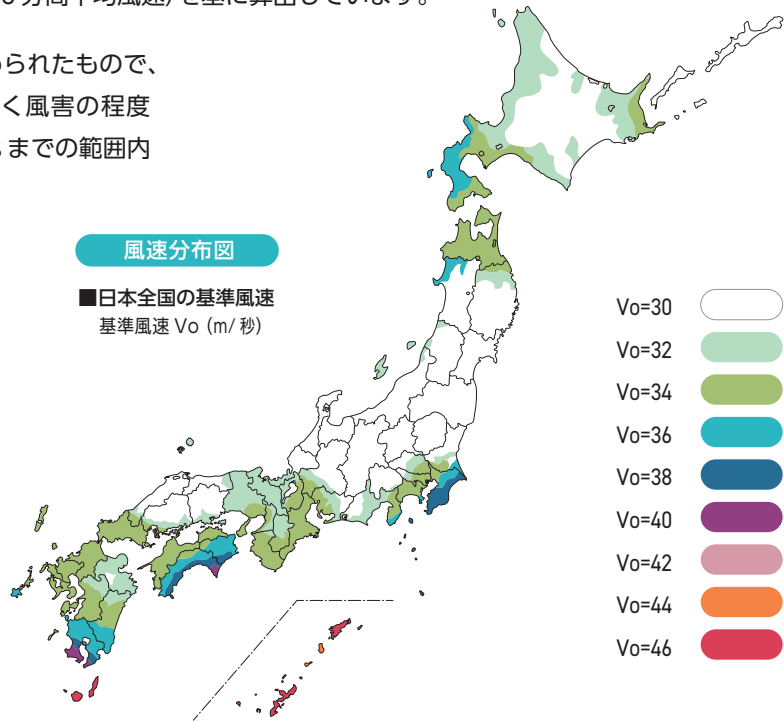
フレームユニット FU-1・FU-2 型の設計強度について

●耐風圧性能

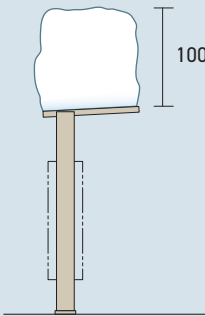
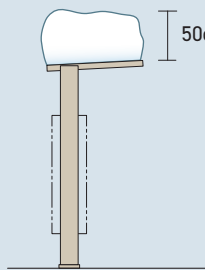
FU-1・FU-2 型の耐風圧強度は Vo=34m/s ※地表面粗度区分Ⅲ地区で算出

耐風圧強度は基準風速(高さ 10m における 10 分間平均風速)を基に算出しています。

基準風速は国土交通省 告示第 1454 号で定められたもので、
その地域における過去の台風の記録に基づく風害の程度
その他の風の性状に応じて 30m/s～46m/s までの範囲内
において国土交通大臣が定める風速です。



●耐積雪性能

				
品番	1 列用	2 列用	3 列用	4 列用
	FU-1-36 FU-2-36	FU-1-72 FU-2-72	FU-1-108 FU-2-108	FU-1-144 FU-2-144
耐積雪量	100 cm			50 cm
積雪荷重	300N / m ²			1500N / m ²
積雪の単位荷重	30N / cm / m ² (多雪区域)			

【積雪の単位荷重について】

建築基準法上の雪の重さは、多雪区域は積雪 1cm 当たり
30N/㎡ (≒3kg/㎡)、
一般区域は積雪 1cm 当たり
20N/㎡ (≒2kg/㎡) で計算します。

※多雪区域とは建築基準法で定められている
「垂直最深積雪量が 1m 以上の区域」のことです。
(1m 以上積もると雪が圧密されるため、
多雪区域の雪の重さは大きくなる)



【雪質を考慮した積雪荷重について】

耐積雪量は 1cm 当たり 30N/㎡＝雪比重：0.3 で算出していますが、
雪の重さは雪の状態により大きく変化し、断続的な降雪や降雪後などは
新雪に比べ雪比重（重量）が増加します。
おおよその目安は次の通りです。

降り積もったばかりの雪	積雪の重みで圧縮された雪	一度解けて再度凍って 細かな氷の粒が集まった雪
雪比重：0.3 1cm 当り 3N/㎡	雪比重：0.5 1cm 当り 5N/㎡	雪比重：0.7 1cm 当り 7N/㎡
100cm	60cm	42cm